



2016年7月10日 (第173号)
発行所 カトリック高松司教区 広報委員会
〒760-0074 高松市桜町1-8-9
TEL 087-831-6659 FAX 087-833-1484
Email
教区: catholic-takamatsu@takamatsu.catholic.ne.jp
広報: tk-koho@mxi.netwave.or.jp
生涯養成: yousei@takamatsu.catholic.ne.jp
WEB://www.takamatsu.catholic.ne.jp/

カトリック高松教区報

マザー・テレサの言葉
愛というカウンには縁飾りがついていません。しかも、その縁は「心」に触れます。ですから、愛は道や路地から、ゴミを掃き出すことが出来ず、愛は、汚れを清める役割を果たさなければなりません。

今こそ武力によらない平和を

司教団メッセージを考える

イエスは歴史の中に生まれ、人々と共に生き「神の国」を証された。癒し、希望、解放、照らし、回心、赦し、慈しみ、命の取戻しの業は、天の御父の証でした。イエスによって呼び集められた教会共同体はイエスのこの使命に生き、そこに傷ついたり、社会があるのなら回復させる方向を指し示す愛をイエスから受け継いでいます。そこで、カトリック日本司教団司教協議会は以下の勧めを提案しています。

2016年3月29日に安全保障関連法が施行された。日本のカトリック教会が平和のために働く使命を果たすために、この安全保障関連法が神の望まれる平和の道にふさわしいかどうか今一度鑑別することは重要なることだと思います。

そこで、平和を願う皆さんに、昨年の戦後70年メッセージ「平和を実現する人は幸い、今こそ武力によらない平和を」をもつ一度読んでくださるよう、お願いしたいと思います。その際、以下の説明を参考にしてください。

キリスト者は今何をなすべきか
戦争へ導く危険な安保関連法

1 安全保障関連法に関する日本司教団の声明

日本の司教団

は、2014年7月1日に安倍内閣が集団的自衛権の行使を容認する閣議決定を行なったとき、日本カトリック司教協議会の常任司教委員会で7月3日に抗議声明を発表しました。

憲法の基本理念に抵触し、軍備増強と武力行使への歯止めを失わせ、戦後70年近

2 平和についてのカトリック教会の使命

戦後70年メッセージ「平和を実現する人は幸い、今こそ武力によらない平和を」を、海外で武力行使できるようにする今の政治の流れに、懸念を覚えずにはいられません。

特定秘密保護法や集団的自衛権の行使を容認すること、事実上、憲法9条の内実を変え、海外で武力行使できるようにする今の政治の流れに、懸念を覚えずにはいられません。

カトリック教会は、特定の政治的立場に立つものではないと、最近の日本の政治



3 日本国憲法と戦争放棄

憲法とは、国家の仕組み、基本的な権利や社会権、行政機構や国際関係、立法精神や国家体制を明示するものです。日本国憲法は、平和主義を国是として

を行使したり権力を癒着したり、便宜の提供を受けたりしてはならない、という政治活動の是非は区別されず、むしろ、わたしたちは信者としての良心に基づいて政治活動を行うべきであり、その権利と義務を持つてい

さらに、教会の権威者は政治についても、信仰と道徳に関するものであれば、必要に応じて、適宜、教えと見解を表明する義務と権利を有するのです(同76参照、憲法74第2項)。

緊急事態条項とは、災害・戦争などの緊急事態に一時的に政府に立法権を付与し、個人の自由や権利を制限する国家緊急権を認める規定です。

日本の司教団が、日本国憲法の不戦の理念を支持し尊重するのは当然のことです。戦争放棄は、キリスト者にとってキリストの福音そのものからの要請であり、宗教者としてのいのちを尊重する立場からの切なる願いであり、人類全体にとっての解放することのできない理想なのです。

カトリック教会は、平和とは、単に戦争がないことでもなければ、敵対する力の均衡を保持することでもなく、他者および他国民と、また彼らの尊厳を尊重する確固たる意志および兄弟愛の実践によって築かれるものと考えます。(「現代世界憲章」78参照)

4 集団的自衛権行使の是非

集団的自衛権の行使を現実とする安全保障関連法は、カトリック教会が目指す平和の道とは相容れない法律ではないでしょうか。なぜなら、それは、国際的緊張を高めて、敵が心をおおきく人を戦争へと駆り立てているからです。

松浦司教を囲んでの懇談会
講演会で松浦司教は、日本は確かに戦争が出来る国へと歩み出している。だが、私たちが守ってあげるべき平和憲法が生き残っているから、国家は国民の自由を束縛することはできない。しかし国民の権利を守る憲法が改正される危機に直面している。

抑止力をもって平和を維持しようとするものです。これは、他国との際限のない軍拡競争を招く恐れがあり、防衛費が増大していくと、わたしたちの生活も大きな影響を受けることになるでしょう。

安全保障関連法は、日本が攻撃されていないのに、他国間の戦争に参加できることを集団的自衛権の行使を中心としています。日本が攻撃を受けたときに限って自らを守ることができるとする個別的自衛権と異なり、集団的自衛権は他国の戦争に自ら参加していくもので、憲法9条が明白に禁じているのです。

「戦争放棄」の大原則を覆してしまうと、日本は「戦争をする国」として、これまでになかった危険にさらされることになる。これは、基本的人権の保障が危うい。また、この法制は、基本的に軍事的な無関心だと、知る権利、表現の自由、裁判を受ける権利が脅かされていることに気が付かない。こんなことに黙っていて良いだろうか。

政治の問題を信仰とは関係がないと放っておくのは、信者としての責務を果たしていないことになる。この危機的な状況に意見も表明せず、行動もしなければ、「あなた達大人は、長年大切に守ってきた平和憲法をなぜ手放したのですか？」と子供たちに問われる時が来る。

一人一人が責任を持って、政治に対してイエス、ノーをはっきり言うことが大切

講演後、私の中で信仰と政治参加が一つの道に繋がった。私は一歩踏み出して政治に対して積極的に意思を表明しようと思った。

人生は旅、心の旅路です。今いるところは仮の住まいです。本当の住まいを目指して、どのような旅をすればいいのでしょうか。

以前、イスラエルを旅した時、訪問教会の美しい壁画を眺めながらマグニフィカトを唱えたことを思い出します。「わたしは神をあがめ、わたしは神の救いによるこびおどる。神は思いつく者を打ち砕き、権力をふるう者をその座から下ろし、見捨てられた人を高められる。」

この賛歌はすでに福音の訪れではないでしょうか。聖母の喜びが山上の垂訓と同じ響きとなって満ちあふれています。聖母は原罪の汚れなくやどられた方ですから、当然のこととして、地上の生涯を終えて肉体と靈魂とともに、天の栄光に上げられました。

こうして聖母は教会の初穂として旅する民の希望、慰めとなりました。人はみな死にますが、どのような死であらうとも、聖母は私達を受け入れてくださると私は信じています。

あわれみ深き御母マリア、どうかあなたの御取次によってあなたの御子イエスを、旅路の果てに私たちに示してください。

松山教会 尾崎壽一

はばたき

人生は旅、心の旅路です。今いるところは仮の住まいです。本当の住まいを目指して、どのような旅をすればいいのでしょうか。

以前、イスラエルを旅した時、訪問教会の美しい壁画を眺めながらマグニフィカトを唱えたことを思い出します。「わたしは神をあがめ、わたしは神の救いによるこびおどる。神は思いつく者を打ち砕き、権力をふるう者をその座から下ろし、見捨てられた人を高められる。」

この賛歌はすでに福音の訪れではないでしょうか。聖母の喜びが山上の垂訓と同じ響きとなって満ちあふれています。聖母は原罪の汚れなくやどられた方ですから、当然のこととして、地上の生涯を終えて肉体と靈魂とともに、天の栄光に上げられました。

こうして聖母は教会の初穂として旅する民の希望、慰めとなりました。人はみな死にますが、どのような死であらうとも、聖母は私達を受け入れてくださると私は信じています。

あわれみ深き御母マリア、どうかあなたの御取次によってあなたの御子イエスを、旅路の果てに私たちに示してください。

松山教会 尾崎壽一

修道院紹介

聖母被昇天修道会

高松修道院



玄関先に勢ぞろい

開設50周年を迎え感謝

高松教区の当時の
教区長、田中英吉司
教様からのお招きを
いただき、私たちが
ここに、多肥下町に修道院を
開設したのは1966年9
月、今から丁度50年前のこ
とでした。

今年が高松修道院創立50周
年を迎えます。これは、
何よりも司教様方、神父様
方、桜町の信徒の皆様方の
沢山のお祈りと多大な協
力の賜物と深く感謝申し上
げます。本当に、ありがと
うございました。

私たちの生活は、毎日の
ミサを中心に、「教会の祈
り」(朝の祈り、読書、昼
晩の祈り、寝る前の祈り)
が共同で唱えられ、午後には
聖体礼拝の時間が3時か
ら晩の祈りまで、行われて
います。(ミサのために毎
朝司教館からおいでくださ
る神父様に感謝)

そして、朝の念祷はミサ
の前に45分、午後には各
自30分の聖体礼拝の時間
でお祈りすることが出来ま
す。

ここに、私たちは日々の
活動の源泉を見出し、周
りの人々を苦しんでいる人々
のために、共に祈りする



シスター方の宣教拠点である高松修道院着

生きるかを共に祈り探して
いくために行われています。
またSr・キリスから引き
継いで「生活の中で祈る」
という祈りの会や幼稚園の
保護者のための聖書の集い、
卒園生のための「マリアの
子ども会」も昨年より再開
されました。

また病院訪問、刑務所の
訪問なども桜町の皆様方の
ご協力を得、Sr・エンジ
ナが担当しています。

幼稚園では、昨年、給食
棟を建設し、自園の給食を
園児たちに提供しています。

98歳 老後を祈りのうちに

中村教会 上岡忠美さん



44年12月10日受洗。

若い頃、補修科を卒業した時
に、受け持ちの女先生から、高
知の盲聾学校の校長に会って
みませんかと言われ面会、欠員
の教師の採用のための面会で
した。不安があったため少し時
間をいただき教育者であった叔
父に相談、答えは「明るく接
して、導いてあげれば良いの
では」と。そして奉職すること
になりました。戦時中、独身教
師たちは生徒と共に寄宿生活
でした。その女性教師のなか
のお一人が、キリスト教の信
者さんで、その方の生き方に
感銘を受けていました。折々
の話の中で、その方は聖公会
に行っているが、カトリック
へ行くように勧められました。
彼女に代母をお願いし、江ノ
口教会で洗礼を受け、結婚後
、ご主人も洗礼を授かりまし
た。終戦後、ご主人はリュック
一つ背負い帰国。勤めるより
「農」をと当時、既に戦災にあ
った人々や引揚者などが多く
入植していた下川口開拓地へ
入植しました。

入植者が増えるとう当然、人
々のための設備が必要となり、
子供たちのために下川口小学
校ができ、教員免許をもってい
た忠美さんは採用され、長年
奉職しました。ご主人にとっては
慣れない農業で大変な苦勞だ
ったようですが、教師という
仕事が、生活の助けとなった
という話です。高知市内に住
み、病気がちのご主人は病院
を転々とされましたが、3
年後に亡くなり、家族の勧め
で、土佐清水へ帰って来まし
た。現在は「ゆうわ渭南」へ
入居し、交代で訪れる家族と
穏やかな日々を送っています。
ご本人の弁では「朝夕毎の1
時の祈りは貴重な幸せな時
間。亡くなった方々への感謝
の祈り。そして神父様の訪
問、信者さんの訪問、すべて
に感謝の日々です。詩篇に「
言葉と思いが神様に喜んで
いただけるように」を旨とし
、心してこのことを実行でき
ますように思っているそう
です。お歳98歳、祈りで始
まり、祈りで一日を終えるとい
ううらやましい日常です。本
来は年齢ではなく、だれもが
目指すキリスト者としての生
活です。微笑みの中に忠美
さんの健寿を祈るものです。
中村教会 宮崎律子

『典礼奉仕』のために (25)

典礼ひとくち解説 その2

「ミサは最も素晴らしい恵みの場」

高松教区典礼委員長 谷口広海

昨年11月の降参節から、
各地区・ブロックで新しい
「ローマ・ミサ典書」の総
則に基づき変更箇所につ
いての学びと実践に励んで
参りました。

カトリック教会は「ロー
マ・ミサ典書の総則」の
冒頭で、ミサの素晴らしい
を次のように教えています。
「ミサ祭儀は、キリストの
行為であり、位階によって
秩序立てられている神の民
の行為であって、全教会に
とつても、地方教会にとつ
ても、また信者一人ひとり
にとつても、キリスト者の
全生活の中心である。」

実際に、ミサの中にキリス
トに於いて世を聖とされる
神の働きの頂点があり、ま
た人々が、神の子キリスト
によって父に捧げる礼拝の
頂点がある。

そして、他の聖なる行為
とキリスト者の生活のすべ
ての行いはミサに結ばれ、
ミサから流れ出、ミサに向
かって秩序付けられている
と。

ただ何となく読み飛ばし
てしまっているのかもしれない
ませんが、実に「ミサは「キ
リストの行為」であり、
「神の民の行為」であり、
ここに、ミサの基本的な特
徴があります。

ですから、ミサは御子キ
リストをこの世に派遣し、
キリストにおいて人類を救
うという神の働きが、今と
いう時に最も素晴らしい恵
みの場を与え、また神の民
が、神の子キリストを通し
て父である神に捧げる最も
素晴らしい礼拝の場なので
す。

ですから、私たち神の民
の中で、司祭はミサを適切
に司式し、私たち信者は意
図的に参列し、



高山右近の生き方を学ぶ

教区修道女連盟総会

高松教区修道女連盟総会
と研修会が6月18日、小豆
島天主教会で開かれました。
総会に続いて「神の慈し
み」をテーマとした「高山
右近の生き方」について、
司教座聖堂の聖年を振り返
り、その生き方を学びまし
た。

高山右近の生き方を学ぶ
降参節の生き方を学ぶ

高松教区修道女連盟総会
と研修会が6月18日、小豆
島天主教会で開かれました。
総会に続いて「神の慈し
み」をテーマとした「高山
右近の生き方」について、
司教座聖堂の聖年を振り返
り、その生き方を学びまし
た。

高山右近の生き方を学ぶ
降参節の生き方を学ぶ



心一つにミサの中

教区内巡礼のチャンス

特別聖年 教皇勅書を読んで

小冊子には、「各地の聖
なる扉にたどり着くために
なる扉にたどり着くために
も、めいめいが自分の力に
応じて旅をしなければなら
ません。巡礼は一人ひとり
がそれぞれの人生を通して
歩む旅路を表すアイコンだか
らです。」と書かれています。
そして巡礼によって聖な

昨年12月8日、無原罪の
聖母の祝日に始められた特
別聖年はおよそ半年が経過
しました。

私は最初の特別聖年の
ことをよく理解していません
たけれど、今年の初め、そ
の聖年のために教皇フラン
シスコが書かれた「イ
エス・キリスト、父のい
つくしみのみ顔」という
小冊子を読んで強い衝撃
と大きな喜びを感じました。
副題として、いづくし
の特別聖年大布の大勅書
と書かれています。まさに
大勅書というべき内容だ
と思つた。

一言でその内容は言
い表せないが、あえて言
葉の副読本、だと感じた
聖書には訳者によって、ま
た旧約との関連において、
少し独特な言い回しがあ
り、読み返すと、ときおり注
釈が欲しいところがある。し
かしこの小冊子には全くそ
れがない。じっくり読めば
それがそのまま伝わって
くる。

「あなた方が地上でつな
ぐる門を通り、赦しの秘蹟
を受けらるるならば、全免
償が与えられることも述べ
られていました。」

聖書で使徒たちに対して
「あなた方が地上でつな
ぐる門を通り、赦しの秘蹟
を受けらるるならば、全免
償が与えられることも述べ
られていました。」

「あなた方が地上でつな
ぐる門を通り、赦しの秘蹟
を受けらるるならば、全免
償が与えられることも述べ
られていました。」



司教座聖堂の聖年の扉を振り返る

「右近の大変な苦勞とそ
の奉獻は信仰によるもので
した。それは長い殉教生活
でもありました。」(ハリ
オ・デ・レダスマ1615
年フイリピン年報)

「昔も今も聖人たちの役
割ははつきりしています。
傷みかけた教会や世界を修
復し、人々の呻きに応じて
働く聖霊のさややかに静か
に耳を傾け、その協力者
となることです。400年後
のいま福者に加えられる右
近も教会をはじめ日本の社
会に光を差し出すとして
いるのです」と古巣神父様
は力説されました。

午後からオリブ園のな
んと始めから教会の聖書の
つもりで建立されたかのよ
うな、ステンドグラスの美
しく落ち着いて祈れる雰囲
気のオラトリオに移動して
ミサに与ることが出来まし
た。

聖母ミコ宣教修道女会
S・丹下台子

「神のいつくしみ」で分かち合う

大阪教管区は去る6月10日(金)に、いつくしみの大聖年・司祭の聖年の集いを大阪梅田サクラ・ファミリア教会において開催した。

大阪教管区の司祭ら150人

★責任者になって打ち砕かれ、苦しい、貧しいと感じた時に「主あわれみたまえ」という祈りがよく出てきた。

★司祭は神のあわれみのイコン(イメージ)でも自分を見ることと違ってくる。

★小教区としての秩序を壊してまで、すべての人を受け入れようとする秩序を壊すのだから。

★毎日ミサの中で「いつくしみ」を繰り返して唱えるが、本当の意味を分かっているのか自分を振り返る。教会においては管理の要素もあるが、それは「いつくしみ」とぶつかることになる。

★幼稚園の保護者の方とコーラスを行っていて、聖年の歌を一緒に歌い、伝えていく。お母さんから子どもに伝わるいつくしみを考えている。

★9・11以来閉ざされた世界になってきた。それに伴い教会も閉ざされた教会になってきているのではない。防犯カメラが抵抗なく

「赦せる人は傷つける人より強い」 「試練の中で神は愛してくれた」

★格差社会、競争社会の中で、一人ひとりの尊厳をもっと大切にしなければという思いを沸き立たせてくれるのが「いつくしみ」。



神のいつくしみについて分かち合う司祭団

★アダムが一人だけではかわいそう。神のいつくしみ。裸ではかわいそう。打ちのめされた人への共感。限界を取っ払うようなニュアンス。徹底して相手に向き合う。「共に」のニュアンス。

★悪霊の存在を感じる。ヘイトスピーチ、死ね、返事をしろ。いつくしみも働くが悪霊も働く。これに對して投げかける言葉が見つからない。パワー不足。でも教会は安全地帯でもある。わたしの隣人になつてくれるのかと試されている。『ヨハネ』ではなく、『ローマ』。自分の生活レベルをミサでも下げることがはかめんだという感じ。だから目を閉じると、誰もいかにここにカトリックの人は行く。叫びを聞き取ろうとする。赦しの秘跡、司祭のパワーではない。人としてのパワーでもない。深い司祭としての喜びに繋がる。十字架は苦しみのシンボルであり、喜びのシンボルである。

★見ようとしなないと見えないうものが多い。日本ではなかなか苦しみが見えない。話したら分かるけど、他国と違って日本は見えない。そもそも日本の文化が他人のことに触れない文化ではないように思う。そこが日本を教えるためのポイントアをしよう。 神のいつくしみは、人を助けるだけでなく、人を育てる意味があると思う。 教皇の言葉「人類は傷ついている」が印象に残った。我々司祭も傷ついている。なかなか司祭同士で分かち合えない。家庭訪問も難しい。病人のために共に祈りましょうと呼びかけたことも、様々な事情で公にできないことがある。悪の力に縛られている。色々規則があつて自由にできない。 神が愛する社会であるという確信を自分が持つていないという気があつた。 現代はこれまでのどの時代にもまして、いつくしみをもちて悪と戦う必要がある。ガンジー「赦しは強者にだけできる特権」。赦せる人は傷つけた相手より強いということ。 ルワンダの内戦を生き延びた少女の体験。家族を殺した相手に発した言葉「赦します」。神から来る心の平安が与えられた。 ミサを始め秘跡を行つているとき、欠点が多い自分にも関わらず、任せてくださっていることにいつくしみを感ずる。 危険な宣教師や自分の全く知らない宣教師に派遣されて神に助けを求めた。しかし、神は現状を変えるよりも難しい試練の中で付き添ひ、愛してくれた。 神のいつくしみは「お優しい」とイメーシしがちだが、「罪と罰」という問題を考えないと神のいつくしみを意味をなさない。神は罪を嫌うが、すべてを御子に背負わせて赦した。いくら人間が罪を犯しても、どんなに憎んでも、地獄へ落とさない神のいつくしみ。 御子の死をもってしてまで人を赦される「真剣な」神のいつくしみ。

2015年度カトリック高松司教区現勢調査報告

Table 1: 信徒数概況. Summary of信徒 numbers by region (香川県, 愛媛県, 高知県, 徳島県) and total counts for various categories like 司祭, 修道士, etc.

Table 5: 信徒数動向. Detailed table showing the movement of信徒 numbers (births, deaths, baptisms, etc.) by church name and region.

- 4. 教区内組織. List of various committees and organizations within the diocese, such as 司教顧問評議会, 宣教師問題委員会, etc.

Table 2: 人員構成. Hierarchical breakdown of personnel within the diocese, including counts for different levels of clergy and staff.

Table 3: 諸施設. List of various facilities and institutions, including schools, hospitals, and social service centers, with their respective counts.

教区スケジュール

Table with 2 columns: Date and Event. Includes dates from July 10th to August 28th with corresponding church events and feast days.

今も聞える優しきお声

故トマス・マヘル神父のお声

4月17日、私は高知の中村に住む岡本伸二さんから一通のハガキを受け取りました。



マヘル神父と談笑する岡本氏(右)

手にしたハガキには、インドネシアのジャカルタの風景が映っていました。空も海もタークブルーの重々しい風景の中に古びた一葉の船が漂って写真でした。

「まさか」。私は急いでそのハガキを裏返すとそれはトマス・マヘル神父の死の知らせでした。

「私は一人の老人を知っている。彼はいつも重荷を負っていたが、決して労苦から逃れようとはしなかった。」

「私は本心で幸せだったよ。ありがとう。」 トマス・マヘル神父の優しい声が聞こえてきます。

突然やってきました。 思えば神父の晩年は老いと共にやってくる病気の根柢が深かった。どんなに苦しい時もクチひとついわず、従順に柔和な心で全てを受け入れ、神父の毎日の生活の中にはいつも神さまがいました。

わたしは沈黙の祈りのうちに、この老人と、イエスと共に年を重ねたトマス神父を重ねていました。

「私は本心で幸せだったよ。ありがとう。」 トマス・マヘル神父の優しい声が聞こえてきます。

白浜被選司教は広島教区の教区長として歴代7人目、教区に昇格してからの司教としては4人目となります。

白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。

折しも、5月9日は、May 9を「メイク」とよむ「メイクの日」です。

成門のある八幡浜市日十町清水医院で撮影会を行いました。

ベトナム4名、フィリピン1名計5名の方々は、早速母国へ写真を送り、喜んでいただきました。

高松教区報では地区・ブロックあるいは小教区での講演会や行事等、皆さんに周知したい広告や報告記事を募集しています。

高松右近の列福式が正式に決定しました。教皇様の来日への大きな期待もありました。

熊本地震へ支援を TSCでは当面の支援を左記、福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、

高松教区報では地区・ブロックあるいは小教区での講演会や行事等、皆さんに周知したい広告や報告記事を募集しています。

高松右近の列福式が正式に決定しました。教皇様の来日への大きな期待もありました。

熊本地震へ支援を TSCでは当面の支援を左記、福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、

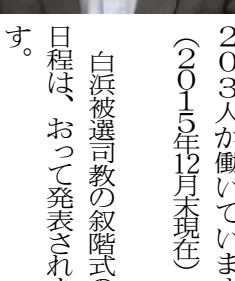
Advertisement for St. Dominic's Missionary Sisters, featuring a photo of a church service and the text '神を觀想し、その実りを人々に伝えよ'.

Advertisement for Maria Kindergarten, featuring a photo of children and the text '人間にとって一番大切なものは心を育てることである'.

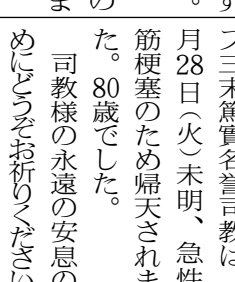
Advertisement for Hoshizuki Gakuen, featuring a photo of a child and the text '私たちは、自分を創造しようとするこどもをまなび、護りましょう'.



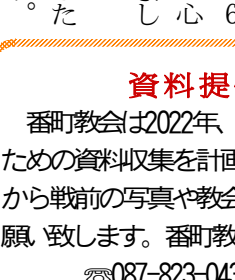
白浜被選司教は広島教区の教区長として歴代7人目、教区に昇格してからの司教としては4人目となります。



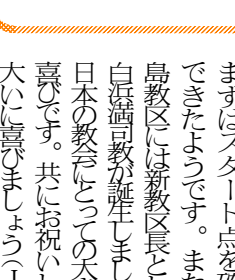
白浜被選司教の叙階式の日程は、おって発表されます。



高松教区報では地区・ブロックあるいは小教区での講演会や行事等、皆さんに周知したい広告や報告記事を募集しています。



高松右近の列福式が正式に決定しました。教皇様の来日への大きな期待もありました。



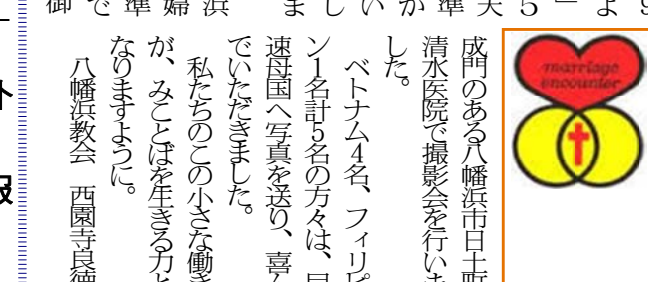
熊本地震へ支援を TSCでは当面の支援を左記、福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、



熊本地震へ支援を TSCでは当面の支援を左記、福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、



折しも、5月9日は、May 9を「メイク」とよむ「メイクの日」です。



高松教区報では地区・ブロックあるいは小教区での講演会や行事等、皆さんに周知したい広告や報告記事を募集しています。

高松右近の列福式が正式に決定しました。教皇様の来日への大きな期待もありました。

熊本地震へ支援を TSCでは当面の支援を左記、福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、

外国人研修女性らが増え、和装を楽しむ会 八幡浜教会

そのような中で、最近若い女性の共同祈願奉仕者が増えています。

Advertisement for Marriage Encounter Weekend, featuring a heart logo and the text 'Marriage Encounter Weekend'.

高松教区報では地区・ブロックあるいは小教区での講演会や行事等、皆さんに周知したい広告や報告記事を募集しています。

高松右近の列福式が正式に決定しました。教皇様の来日への大きな期待もありました。

熊本地震へ支援を TSCでは当面の支援を左記、福岡教区の支援窓口と、カリタスジャパン、